

## 自衛官を目指す入隊予定者にエールを送る

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、2月24日（金）、浜松市役所（浜松市中区）で行われた「浜松市自衛隊入隊激励会」を支援した。

同激励会は、浜松市と浜松市自衛隊家族会の共催により、自衛隊及び陸上自衛隊高等工科学校・防衛大学校等への入隊・入校予定者に対して毎年入隊前のこの時期に行っている。

当日は、入隊等予定者40名が出席し、地元のケーブルテレビが取材する中、これから国防の一翼を担う自衛隊員の一人になる志を高める貴重な機会となった。

激励会は、鈴木康友浜松市長、志賀勝浜松市家族会長、谷嶋正仁浜松基地司令、根本博之静岡地方協力本部長、北村義治自衛隊募集相談員西部連絡会長が参列し、入隊予定者に「国民の信頼に応えられる自衛官になってほしい」等とエールを送ると、入隊・入校予定者らは、自衛隊の使命を自覚した様子で真剣に聞き取っていた。

その後、入隊予定者を代表し、航空自衛隊の「航空学生」としてパイロットを目指す、浜松市立高等学校（浜松市中区）の小澤翼君が「これから訓練を積み、1日でも早く一人前の自衛官になりたい」と決意を述べた。静岡地本は、今後も市や各協力団体等と連携してこれから自衛隊の門を叩く入隊予定者の物心両面の支援に努めていく。



## 多用途支援艦「えんしゅう」が熱海に初入港

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、2月25日（土）と26日（日）の2日間、熱海港（熱海市）に入港した海上自衛隊の多用途支援艦「えんしゅう」の広報活動を実施した。

同艦は、多種多様な任務に関わる訓練支援と災害発生時の救護活動を主任務とした艦で、横須賀地方隊に所属し、熱海港への入港は今回が初めて。初日は、熱海市危機管理課の職員が訪れ、艦艇見学及び防災・災害派遣について研修を行い、見識を深めた。

2日目は、静岡県東部地区の学生を対象とした特別公開を実施し、一般公開では見られない食堂や居住区、輸送・補給・訓練支援を任務とする多用途支援艦ならではの装備品を見学するとともに、ゴムボートによる体験乗艇では水しぶきをあげながら港内を走るスピード感を楽しんでいる様子であった。

昼食には調理員自慢の水を使わないキーマカレーを体験喫食し、「有名な海上自衛隊のカレーを食べたのは初めて。コクがあってまろやかで美味しい」と笑顔で話していた。

また、2日間とも午後には地元へ的一般公開も実施され、熱海に初入港した同艦を見ようと訪れた約620人で賑わった。

静岡地本は、今後も自衛隊と地域の連携を大切にしながら、防災に対する見識を深めてもらうとともに、自衛隊を志す意欲ある若者の獲得に邁進していく。

